

爲ス是レ一ハ軍紀(ヂスチプリン)ヲ保持スルカ爲メ一ハ兵亂ノ起リ易キヲ防クカ爲メニ因ルモノトス殊ニ兵事ヲ論説スルヲ以テ目的トナスノ集會ハ後備軍ニ在ル者ト雖モ之ニ與カルコトヲ禁止セリ

又「ストライキ」ト稱シ職工輩團結シテ備賃ヲ昂クルヲ謀ルノ集會ハ往時刑法ニ於テ禁スル所ナルモ現今ニ至リテハ之ヲ廢セリ是レ輓近資本家ノ勢力強盛ニ赴キシヲ證スルニ足レリ何トナレハ政府ニ於テ資本家ノ能ク職工輩ヲ傭役シ之ヲシテ私意ヲ逞クセシメサルヲ信認シタレハナリ

以上四款ハ國民ノ權理上專ラ身體ニ屬シタル基礎權(ホーランドメンタールライト)トス因リテ次款ハ更ニ財産ニ係ル權理ヲ畧述スヘシ

第五款 財産權

政府ハ惟人民ノ互ニ財産ヲ侵犯セラル、ヲ防護スルノミナラス實ニ國家ノ爲メ常ニ保護ヲ加ヘサルヘカラス然レトモ時トシテ各人ノ財産ヲ處分セサルヘカラサルモノアリ即チ公益ヲ圖ルニ當リ各人ノ所有地ヲ以テ其用ニ供セサルヲ得サルカ如キ場合はナリ蓋シ社會ノ通義ニ於テ公益ト私益ト對立スルトキハ公益ヲ以テ先トナスヘキモノトス是ニ於テカ學國ノ憲法ニ在リテモ政府ヲシテ人民ノ財産ヲ買上ルノ權ヲ有セシメリ故ニ政府ハ各人ノ財産ニ干涉スルヲ得ルモ恣ニ之ヲ與奪スルヲ得ス必ス其土地及物品ニ對シテ相當ノ賠償ヲ給セサルヘカラス而シテ買上ヲナスヲ得ルノ場合ハ法律上之ヲ明示セリ即チ其主トスル所ノモノハ鐵道、河渠、市街ノ如キ運輸交通(コシム

ニケーシオンニ供スルカ爲メニスルモノトス又砲臺ヲ築クカ如キ鑛山ヲ開クカ如キ或ハ排水引水等ノ工事ニ係ルモノヲモ亦公益事業ニ屬スルヲ以テ其土地ヲ買上ルコトヲ許セリ意フニ人民所有ノ財産豊裕ナルニ及ヘハ此等買上ヲ要スルモ亦自ラ多キニ至ルヘシ

現今買上ノ權ニ關スルノ法律ハ千八百七十四年六月廿一日公布ノ「エントアイグマングスゲゼツ」〔羅句語ハ之ヲ「エキスプロブリヤチオン」スゲゼツ〕ト稱セリ是ナリ但シ買上ヲ要スル場合ニ當リテハ主任ノ官吏國王ノ命令ヲ以テ此權ヲ付與セラレ始メテ施行スルヲ得而シテ小事ニ係ルトキハ特ニ主務大臣ノ指揮ヲ受ケテ行フヲ得ルモノトス

英國ニ於テハ右ノ場合ニ會スル毎ニ國會ヲ以テ其適應ノ規程

ヲ定ムルノ制トス然レトモ學國ノ如ク其場合ヲ指定セルコト精確ナルトキハ必スシモ一々國會ノ調査ヲ俟タス單ニ行政上ノ處分ニ任カスヲ以テ可ナリトス而シテ夫ノ鐵道ヲ設ケントスルカ如キ若シ買上ノ權ヲ有セサレハ終ニ其事業ヲ成ス能ハス故ニ國王ハ必ス其權ヲ主任官吏ニ付與セサルヘカラス且此權ハ惟政府自ラ有スルノミナラス苟モ公益ニ係ルノ事業ナルトキハ私立會社ト雖モ亦之ヲ付與スルモノトス

然ルニ官吏又ハ私立會社ニ於テ此權ヲ付與セラレンコトヲ要スルトキハ先ツ之ヲシテ其事業ニ關スル所ノ圖面ヲ政府ニ提出セシム之ヲ買上土地繪圖面(エキスプロブリヤチオン)スブラン)ト稱ス乃チ政府ハ其圖面ニ據リテ此權ヲ施スヘキ地所ノ廣表ヲ檢定スルモノトス而シテ此權ヲ付與セラレタル者ト地主

トノ間ニ爭端ヲ生シタルトキハ先ツ縣常置委員(ベチルクスア
 ウスシユス)ニ於テ裁定シ工部大臣之カ再審ヲ爲スモノトス但シ
 此等ノ裁定ヲ法官ニ委セサル所以ノモノハ主トシテ行政上ノ
 便宜ニ因ルナリ
 又右ノ賠償金額ニ對シテ爭論ヲ生スルハ往々之アリ此場合ニ
 當リテハ亦縣常置委員ニ於テ土地ノ價格ヲ熟知スル者ヲシテ
 其地所ヲ評價セシメ然ル後賠償額ヲ定ムルナリ而シテ其主任
 官吏又ハ私立會社ニ於テハ該金額ヲ地主ニ償完シ若クハ豫メ
 保證金ヲ政府ニ預ケサレハ終ニ買上ノ權ヲ行フヲ得サルモノ
 トス然ルニ地主ニ於テ尚ホ縣常置委員ノ定メタル所ニ不服ナ
 ルトキハ其不服ヲ唱ヘタル時ヨリ六ヶ月以内ニ之ヲ法廷ニ訴
 フルニトヲ許セリ

蓋シ學國ノ憲法ニ於テハ土地ヲ以テ財產權ヲ有スルノ主要ナ
 ルモノトナスノ精神トス故ニ今日ニ在リテハ何人ト雖モ土地
 所有ノ權ヲ保全シ古來農民ノ所有地ニ附帶セシ種々ノ義務ノ
 如キハ總テ之ヲ免カル、ヲ得加之各人自由ニ財產ヲ處分スル
 ノ權ヲ認可セラレタリ是レ實ニ著名ナルフリードリヒウルヘ
 ルム第三世ノ宏謨ニ基キ夙ニ千八百七年及十一年ニ於テ公示
 セル所ナリ是ニ於テ人民ハ皆自己ノ便利ヲ圖リ其所有ノ土地
 ニ就キテ各種ノ區畫ヲ設ケンコトヲ欲シ而シテ政府ノ議ニ於
 テハ若シ此等狹小ナル區畫ヲ設クルヲ許ストキハ自ラ殖産興
 業ノ盛衰ニ關シ理財上得策ニ非ス故ニ先ツ區畫ノ制限ヲ定ム
 ヘシトナセリ然レトモ終ニ人民ノ自由ニ任シタリ
 又銃獵ハ他人ノ所有地内ニ於テスルヲ得ルノ權ヲ廢シ而シテ

獨リ土地所有ノ權ニ附帶スルモノトナセリ要スルニ古來領主ノ有セシ所ノ特權ヲ廢シ更ニ其管内ノ人民ニ財產權ヲ付與シタルナリ顧フニ政府ニ於テハ既ニ人民ノ所有タル財產ヲ保護スルハ論ヲ埃ダス尙ホ將來其所有ニ歸セントスルノ財產ニ對シ妨害スルモノヲ除去セサルヘカラス然レトモ昔時ハ其除去ヲ要スルモノ頗ル多ク組合營業ヲ爲スカ如キモ亦之ヲ許サ、ルナリ近世ニ至リテハ此等檢束ニ過クルノ弊習ヲ洗除シ自由營業ヲ得セシメタリ

蓋シ學國ニ於テ自由營業ヲナセシハ夙ニ千八百十年ニ起レリ而シテ今日尙ホ此自由ヲ與ハサルヲ可トスルノ論者アリ是レ謬見ト謂フヘシ何トナレハ學國ノ漸ク富强ニ至リシハ實ニ自由營業ノ力ニ賴リタルモノ少ナカラサレハナリ然ルニ自由營

業ト雖モ其業體ヲ警察官ニ申告セシムルヲ要ス何トナレハ業體ノ何如ニ因リ公眾ニ危險ヲ被ムラシムルノ恐レアルモノハ許可スヘカラサルヲ以テナリ即チ醫師、教師、樂舖ノ如キハ必ス政府ニ於テ其適否ヲ檢定シ以テ許否スヘキモノトナシ既ニ法律ニ於テ之ヲ明示セリ但シ警察官ノ許可セサルトキ之ニ不服ナル者ハ法廷ニ告訴スルヲ得而シテ上等行政裁判所之カ終審ヲナスモノトス

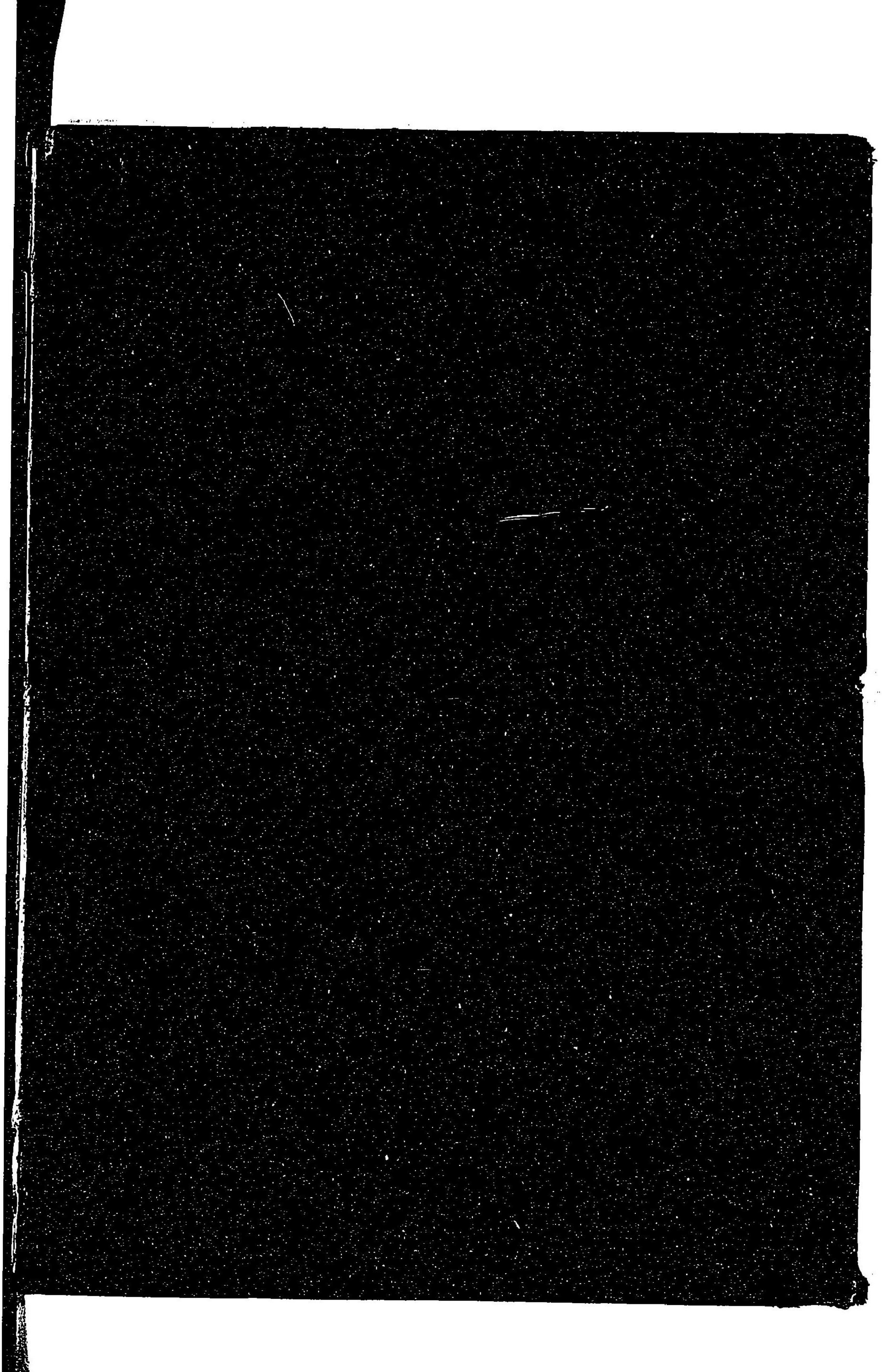
アダムスミス氏曰ク人民ノ財產ト看做スヘキモノハ惟其人ノ技能ナリト蓋シ其旨趣タル人民各自ニ技能ヲ使用セント欲セハ其業體及場所ヲ選定スルカ如キ總テ各自ノ思想ニ出テ、之ヲ成シ復タ他ノ束縛ヲ受クルコトナシト云フニ在リ夫ノ自由營業ノ如キ即チ此旨意ニ出テタルモノニシテ亦所謂基礎權中

ノ要件ナリトス
要スルニ自由營業ハ人心ノ自然ニ基キ國家ノ盛衰ニ係ルモノ
ト謂フヘシ然リ而シテ寺國憲法上之ニ關スルノ事項ヲ掲ケサル
ハ豈一大缺漏ト謂ハサルヘケンヤ

寺國憲法要論終

24

80



24
80

031566-000-1

24-80

国家論略・独逸帝国憲法要論・李国憲法要論

野村 靖 / 編

[M20?]

BBE-0185

